

寝取らせの待ち合わせにいたのは、私の倍くらい背丈のある黒人の方でした。彼は「ダリウスです」と気さくに笑いました。

私が驚いて見上げているとダリウスさんが微笑みました。

「あ、もしかして私のこと日本人だと思っていましたか？」

「ええええ、はい。ダリウスさんとっても日本語がお上手だったので嫌です？」

「え、あ、いえ……その……優しくそうでちよつと良かったです」

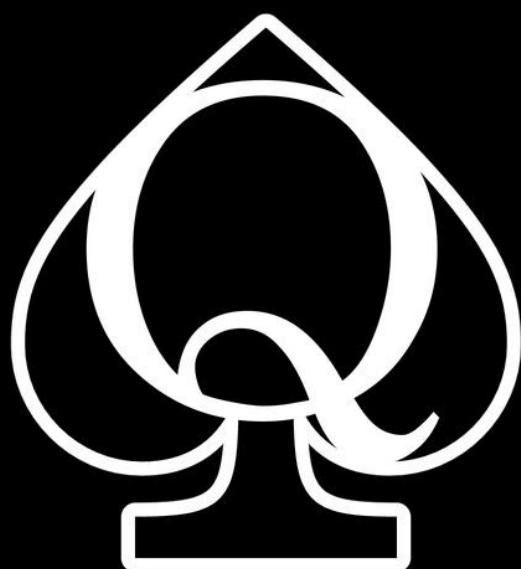
「ははは、みんな最初はそういつてくれます」

ホテルまで歩く道すがら、周囲の目はダリウスさんに集まっています。最近では外国人も珍しくはないですけど、ダリウスさんは

2メートル近い身長に、薄いシャツからはみ出て鍛え上げられた両腕。

どうして注目されてしまします。

そうしてやっつとホテルです。



ダリウスさんは服を脱ぐなりいきなり私を力強く抱きしめてきました。日本人では嗅いだことのない、独特な香辛料みたいな香りでした。

「じゃあ、ユキ、しましょう」

そう語る彼のおちんちんがお腹にずっと当たっています。

話では聞いていましたけど、黒人の方の性器は信じられないくらい大きくて、私はちよつと恐怖を覚えていました。

（今からこのおちんちんと……）

そんな不安感。

でもそれと同時に、ほんの少しの……期待感があつたんです。
その……あなたのは全く違うアレに、どうされちゃうんだろう……って♡

ドキドキ

ガシィ

むく

まずおちんちんを見せつけられました。
あなたのよりちよつと柔らかい感じでしたけど、
ドクンドクンって脈打ってて、何より……とんでもなく大きかったんです。
まさに、エッチな漫画で見たようなサイズ感でした。
こんなの、絶対に入るはずない。でも同時に入れてみたい、
そんなことも考えちゃったりしたんです。

ダリウスさんは笑顔で私に促しました。

「さ、ユキ、媚びてください」

彼は支配欲が強いみたいで、SNSでも色々な女の人を「飼っている」様子が
アップされていました。

私もそういうプレイを求められるかもって覚悟はしていましたが、
ちよつとためらいつつも覚えてきたセリフを言いました。



「ダリウスさんの大きなお、おちんぽ……柚季に恵んでください」
「柚季、勉強してきましたよね？ もう一つの方を言いなさい」



「え、えっと……ダリウスさんの黒人ち、ちんぽ……柚季の日本人ま、まん……ここにずっぷり……はめてください……♡」

「はは、そうそう！ 恥じらいがあるけどOKです。」

「自分が誰にハメられるのか、しっかり理解してください」

そういうやりとりの後、ダリウスさんのおちんちんがズンッ
奥まで突き刺さってるのに、全然入りきっていないんです♡

「おひゅ♡ひい♡」

掠れた声がぴいぴい鳴っていました。何か喋ろうとしてるのに、
全く声にならないんです。

「ユキ、小さくて使いやすいですね！」

彼は大きな声で笑いながら私を上下に揺すり始めました。
私のことを完全にオナホ扱いしてくるんです。

オオオオ♡

内臓が引き抜かれていく感覚って言うて伝わりますか？
カリが容赦なく私の膣壁を掘削していつて、これ抜けたら内臓が裏返っちゃうってところまで引き抜かれたら、また一突き♡

「おっほ、ひい♡おふ♡ふぎっ♡ダリう、さっ、はっ、げしいですう♡」

そのまま私を絶頂間際に持っていていたら、渾身の全力ピストン再開です♡
「うつぶ♡ぞれえ♡だべでずって♡わげわがんなイイツ♡
おにゃかつぶれる♡やっべ♡きぼぢイイ♡ぎぼぢーっ♡」
……ダリウスさんの腕の中で、気絶しては起こされ、また気絶♡

生きてるのか死んでるのかもよく分からなくなってきた、
でも自分がメスとして使ってもらえてるのが「幸せ」そんなふうになっっちゃってました♡



そんな殺人ピストンのあとと堪えきれなくなったのか、私の中に……

ボビユルルルウウウウ♡♡♡

1104♡人

104♡

オ
ハ
レ
ユ
ル
ウ

射精だけでおなか膨らんじゃいました。



私が完全に気絶したのでその日はおしまいでした。
でも別れ際にあなたにこう言ってお別れなさいって言われたんです……♡
耳貸してください♡

（ダリウス様の黒人ちゃんぽ♡
あなたの粗チンなんかとは比べ物に
ならないくらい最高でした♡）

ふっふふー♡

どうです？ 興奮します？

本当は一回だけのつもりでしたけど、

あなたさえよければ次もダリウスさんをお願いしましょっか？



どうですか？
興奮、しますか？
そうですか、嬉しいです……♡



もー似合う似合うってーっばいオススメされちゃって
どんどん増えちゃうんですよ♡
「やばいの」も結構貰ったので、
ちゃんとつけられるようになったら見せてあげますね♡



んちゅるう♡
チューー♡

ちゅ♡

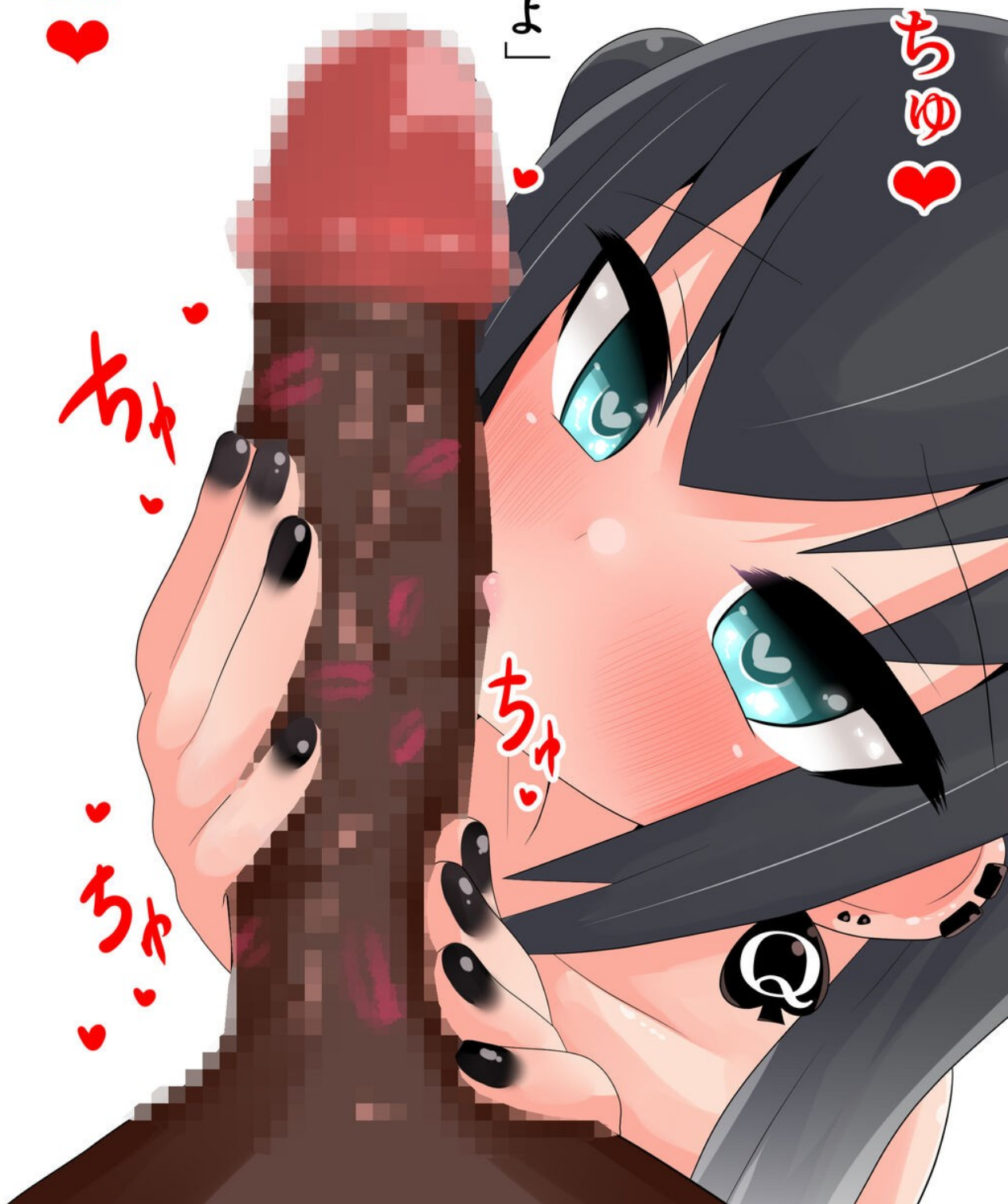
「ほらユキ、
通話つながってますよ」

ちゅ♡ちゅ♡
ちゅ♡ちゅぶ♡

ちゅ♡

♡ちゅ♡

「はは、すみません。ユキ、とってもこれが好きなんですよ。
くわえる許可を出してないので、こうしてもどうかしくペニスにキスして
媚びるんです。すごく可愛い奥さんですね」



「……Yuki!!」

ひゃいっ!!

「だんなさんが見てるよ、

しっかりしなさい。

だんなさんが良いというまで

おしゃぶりはナシです」

は、はい……。え、えっと、

あなた、今日は寝取らせ

ビデオ通話でしたっけ?

……。そうですね。……。はい。

口紅、濃い色の方がエロいって

言われたので……。いえ、

あなたの趣味とか関係なくないですか?

……。あの……。あの! その話、長くなります?

じゃあもういいですよね!

ご主人様お待たせしちゃったら申し訳ないので、

もうあなたは黙っていてくださいね!



ご主人様のおちんぽ奴隷でえす♡

田のに誠心誠意ご奉仕させていただきまあす♡♡

「はは、奥さんにしつかりと生き物としての格の違いを教えてあげたら、すっかりコレに夢中になっちゃって。

命令すれば一晩中だって啜ってるんですよ」

「本当にユキは飲み込みの早い良い子だ。

丁寧にペニスを刺激してくれるんです。

こんな可愛い女を他人に貸し出すなんて、あなたは狂ってますよ」

「こういう雌は、一度捕まえたらずるさず遊び尽くさないと♡」

「どうです、ユキの格好。ワタシがお願いしたら慣れないピアスも開けてくれたんです。次はどう染めてやろうか、いつも楽しみにしています」

んべエ♡今日つけたのはコレです♡んれえ、舌ピ♡
ちよつとヒリヒリしますけど、
またご主人様の証をただけてドキドキします♡

「ははとてもかわいいでしょ。ユキは元がいいから何をつけても
似合いますよ。……ん、ユキ、どうしました？」

あのお……そろそろハメていただけませんか？

今日のために甘交尾でしっかりご主人様お迎えする用意、できてますよ♡

わろお。

「ユキ、それを決めるのはあなたじゃない」

す、すみません！

「ですが画面の向こうのだんなさんが惨めに
マスターベーションしてくれるなら、ご褒美のペニスを差し上げましょう」

……あなた、分かってますよね？

あなたの精子を無駄にするだけでご主人様とあなたの奥さんが
気持ちよくセックスできるんです。ほら、オナってください♡

……ね、はーやーくう♡

オーナーれ♡ オーナーれ♡

あは♡ やっぱ♡

ホントにオナったあ♡ サイター♡

「下劣な夫を持つと苦労しますね。じゃあユキ、尻を向けなさい」

はい♡ ご主人様のおちんぽ欲しさに、こんなに濡れちゃってます♡
ハメ媚び浮気妻にお仕置きファックくださあい♡



「ユキ、もつと汚く喘ぎなさいっ。
どれだけ私好みに変わったのか画面の
向こうの負け犬にも分かる様に叫ぶんです」

おおおおっ
気もちいっ!!

114



ご主人様の極太黒人ちんぽお
もうこれしかいらないっ!!

二度と日本人とエッチしませんっ!!
アイツなんてもう知りませんんっ!!

「夫に対してなんて口を叩くんだ悪い子だ!」

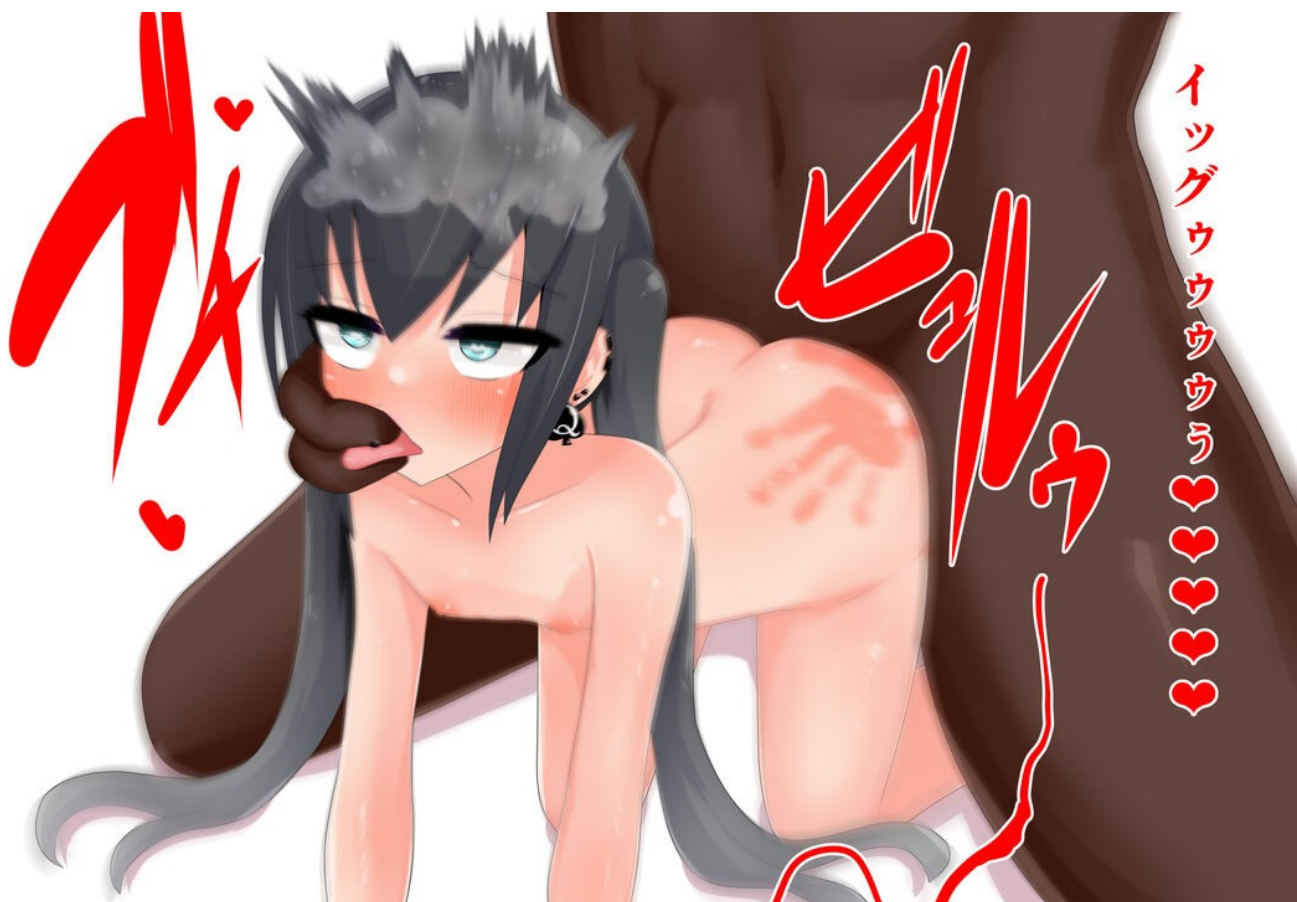
114



ごひゅじんひやまのおちんばハメてもらえれば
それだけでじゅーぶんでしゅう♡
ユキのこと飼ってください♡
このままごひゅじんひやまに
ハメちゅぶされたいんです♡んおおお♡



ヤバイいい♡のーさいばー死んでくう♡
これまで生きてきたこと全部無駄になってく♡
うれじー♡ごひゅじんしやまあ♡ハメころひて
ころひてくださいあい♡♡
BBC知らずにアイツと結婚しちゃったこと、
じえんぶ塗りつぶしてころひてええ♡
「ほらユキ、イキ死になさいっ!!」



イッグウウウウウ
♡♡♡♡♡



ジンサーサイコーアクメ……♡あひえ……♡
「じゃあ旦那さんにお別れしましょうか？」

はあい♡
バイバイ♡……えつと……名前忘れちゃった♡♡

とろん♡

いんやん♡

ミッ♡

ゾッゾッ♡

とろ♡とろ♡

キュッ♡

えへへー♥ありがとーございまーす♥
妻取られてもお金買いじゃう
負け犬精神だけは誉めてあげますね♥

頂いたお金はちゃんと
無駄遣いしよーと思いまーす♥
じゃ、またお金貯まった時
だけ連絡くださいね♥



あ？ まだ話したい？ もう金ないだろ？
今からダーリンと卒アル風俗ゲームすんだから邪魔すんなよ



それと今度お前の卒アルも使ってみたって
用意しとけよ またねー♡

※卒アルゲーム…ダーリンが卒アルから気に入った雌を選び、袖季がその相手を誘い出し、それをダーリンが食い散らかす遊び。袖季が相手を誘い出せないと罰ゲーム。

あーえっと、なんだっけ？

そうだ。昔のこと考えてたんだった。

あの頃に戻りたいかと問われたら、明確にNOだ。

この巨大な黒い生殖器が、筋肉質な巨体が、荒々しい抱擁が、過去のちっぽけな幸福を全て塗りつぶしてしまった。



いロにキュッ

今も、途切れ途切れになる意識の隙間から、強烈な快楽と幸福感が脳を焼いているのを感じる。繰り返せば繰り返すほど、刻まれた喜悦は深くなり、すでに私は黒い信仰心に埋没してしまっていた。でも、でもどうか覚めないで。

私とダーリンの、幸福な、夢♡

クソマゾくん見てるーっ♡
昨日振り込んでもらったから、
お礼のケツハメセックス動画撮りまーす♡
あ、お貢ぎはクソマゾくんの
義務だからお礼とかいらないかな？

くすくす♡

フリ♡

フリ♡

ま、いっか、どうせダーリンとハメ撮りするつもりだったし♡
ハメ撮りはネットとかで売るんだ♡



ダーリンと私たちのエッチ、かなり売れ行きいいんだよ♡
クソマゾくんのお友達にもたくさん
出演してもらってすっごい助かってる♡
みんな最初は自分のこと売ったクソマゾくんに
酷いこと言うんだけど、最後には笑顔で
商品になってくれるから安心してね♡



あ、普通の人がどんどんBBCの奴隷に
堕ちてくとも思い出したら興奮してきちゃった♡

じゃ、ファックするね♡

まんこは浅くってダーリンのが
全部入らないから、後ろでするのが
スタンダードになってるんだ♡
ふふ、いいい？

このぶつといダーリンの
スーパークックがどこまで入るのが
しっかり見ててね♡

ドク

ペん

♡

ペん

♡

ドク

キュッ

ん、……この入れる前の一瞬好き……ああ、私今から殺されるんだあ♡♡♡
ダーリン……好k





えへへえ♡
これはいつちやうとお♡
なあんにも考えられなくなつちやうんれしゅう♡



おっきいのでおしりから背中まで全部貫かれてえ♡
あたまバチバチしてコレ以外
なにもいらないうって思つちやうのお♡



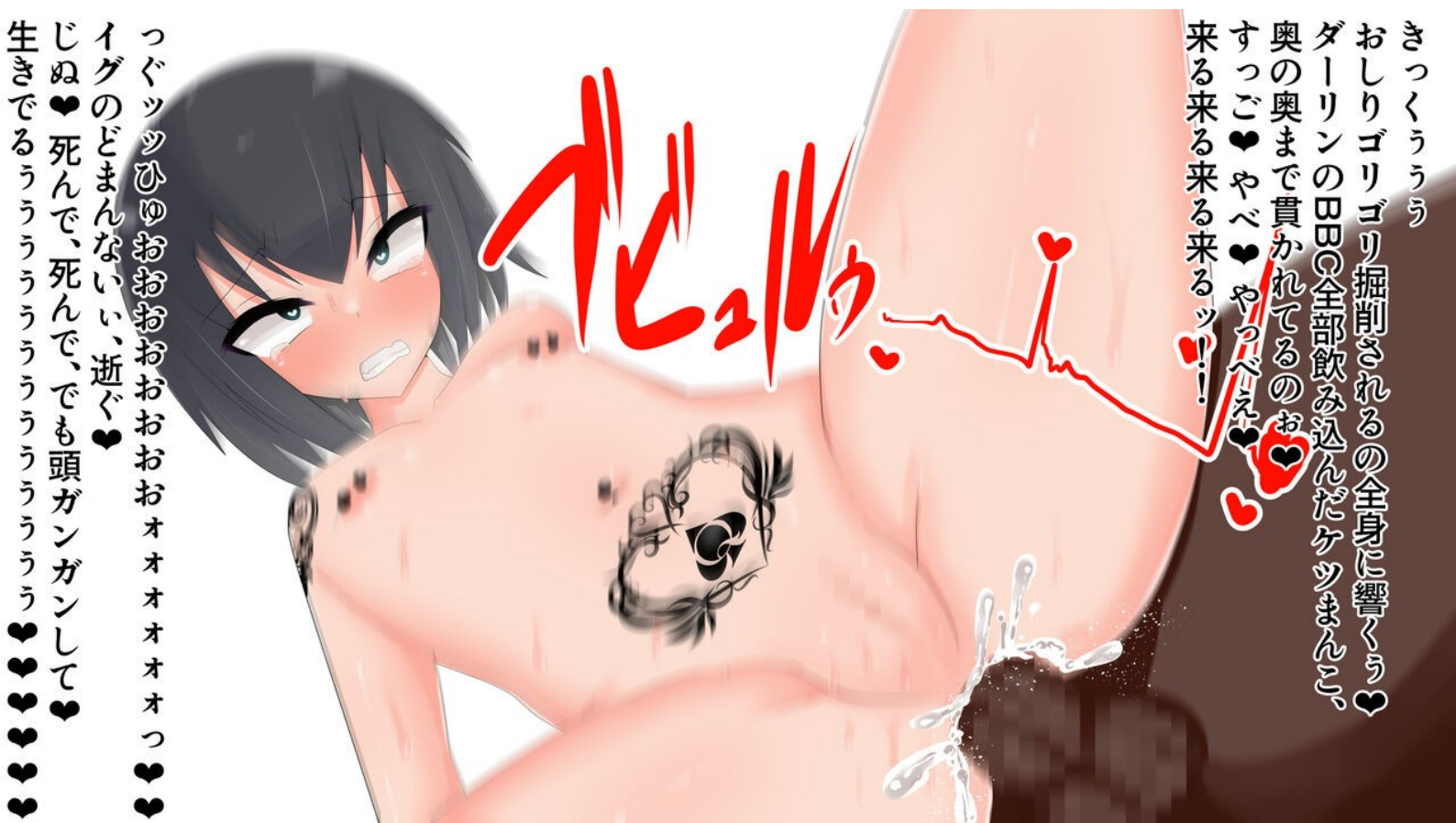
ダーリン、お腹持ちあがつちやうッ♡
ダメダメダメダメえ♡
ごめんなさい♡
ダーリンにファックしてもらっているのに
クソマジなんか話しかけてごめんなさい♡

きつくううう

おしりゴリゴリ掘削されるの全身に響くう♡
ダーリンの田の全部飲み込んだケツまんこ♡
奥の奥まで貫かれてるのお♡
すっご♡やべ♡やっぺえ♡
来る来る来る来るッ!!♡

アハハハ

っぐっつひゅおおおおおおオオオオオオっ♡
イグのどまんない、逝ぐ♡
じぬ♡死んで、死んで、でも頭ガンガンして♡
生きでるうううううううううう♡♡♡♡♡



昔のことを思い出そうという気持ちはあまり湧かない。別に嫌な思い出があるわけじゃない。むしろ幸せなことが多かったような気がする。いつだってそばに大切な人がいて、その人にとって私も大切な人になれて――



